

表 女性の活躍推進（ポジティブ・アクション）に取り組む上での問題点別
事業所数および割合（北九州市、全国）（複数回答）

女性の活躍推進（ポジティブ・アクション）に取り組む上での問題点は、北九州市の常用労働者数 30 人以上（民間のみ）の事業所では、「女性の採用人数が少なく、全体に占める女性の割合が少ない」が 38.2%で最も高く、全国では「家庭的責任を考慮する必要がある」（51.4%）、「時間外労働、深夜労働をさせにくい」（34.0%）の割合が高い。

	本市				国
	回答者全体 n=759		常用労働者数 30人以上 (民間のみ) n=414		常用労働者数 30人以上 (民間のみ)
	事業所数	割合(%)	事業所数	割合(%)	割合(%)
女性の採用人数が少なく、全体に占める女性の割合が少ない	248	32.7	158	38.2	—
女性の勤続年数が平均的に短い	149	19.6	93	22.5	33.5
家庭責任を考慮する必要がある	251	33.1	140	33.8	51.4
一般的に女性は職業意識が低い	55	7.2	38	9.2	14.3
顧客や取引先を含め社会一般の理解が不十分である	34	4.5	20	4.8	6.7
中間管理職の男性や同僚の男性の認識、理解が不十分である	40	5.3	26	6.3	8.4
時間外労働、深夜労働をさせにくい	162	21.3	94	22.7	34.0
女性のための就業環境の整備にコストがかかる	20	2.6	11	2.7	4.3
重量物の取扱いや危険有害業務について、法制上の制約がある	61	8.0	37	8.9	11.3
女性の活躍推進(ポジティブ・アクション)の概念がわかりにくい	52	6.9	29	7.0	11.5
その他	39	5.1	21	5.1	8.6
特になし	154	20.3	73	17.6	15.0

※国:「平成 23 年度雇用均等基本調査」企業調査

※「—」は選択肢が存在しなかったことを表す

(資料) 北九州市立男女共同参画センター・ムーブ『北九州市における女性の活躍推進実態調査報告書』(平成 26 年度調査)